はやしだより

2022年新春号発行　広報誌　第37号　発行責任者　星　昌子

公益財団法人 林精神医学研究所
附属林道倫精神科神経科病院
〒703-8520
岡山市中区浜472番地
TEL. 086-272-8811
FAX. 086-273-9944
ホームページ
http://www.hayashi-dorin.or.jp/
E-mail:hamawww@po.harenet.ne.jp

♥病院理念
その人らしく生きられるように
共に支えあいます

♥基本方針
1、「心の病」の予防、治療、リハビリに取り組みます。
2、人権を尊重し、安全・安楽・信頼の医療に努めます。
3、地域と連携し、誰でも安心して暮らせる地域づくりに努めます。

2022年 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

日頃より当院をご利用していただいている皆様や、さまざまな連携をいただいている医療機関、福祉施設、行政の皆様に心から感謝申し上げます。

世界的なコロナ感染は3年目を迎え、不自由な生活が続きます。昨年8月に院内感染が発生しご心配をおかけしました。最前線でケアするスタッフと後方で支援するスタッフが力を合わせ大奮闘でした。岡山市保健所、県の対策本部、岡山県精神科医療センター等の専門病院のご指導とご協力をいただきました。ワクチン接種済みだったこともあり全員が回復し無事収束することができました。あらためて感謝申し上げます。

元気を出すために昨年の「いいこと探し」をしてみました。

大谷翔平選手が大リーグで大活躍しMVPに輝いたこと。池江璃花子選手が病気を克服してオリンピックに出場できたこと。彼らの記録だけでなく人柄に随分勇気づけられました。眞鍋淑郎先生がノーベル物理学賞を受賞したこと。眞鍋先生の研究は地球温暖化の予測に役立ちました。気候危機対策は待ったなしの状況です。コロナ感染同様に全世界が協力して解決にあたらなければならないと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長　林　英樹

当院はお金のあるなしにかかわらず
安心して受診していただける病院です。

●無料・低額診療事業を実施しています　●差額ベッド代は頂いておりません

林病院は、患者さんの受療権を守る取り組みとして、無料・低額診療事業（無低診）を実施しています。無低診を適用されますと、当院の医療費が無料または低額になります。経済的な理由で医療費の支払いが難しい方、お気軽に相談室または受付まで、ご相談ください。適用にならない場合でも、解決策を一緒に考えていきます。

また、「命は平等である」との考え方から、差額ベッド代も頂いておりません。

新型コロナを乗り越えるために

～感染対策委員会より～

林病院の感染対策委員会では新型コロナ感染症対応、薬剤耐性菌対応やその他感染症の対応を行っています。これまで、感染経路やPPE（個人防護具）の着脱の実践学習会、県外移動の報告や発熱の報告等を行ってきました。院内に職員が感染症を持ち込まない、また持ち帰らない、さらに早期発見するために発熱や風邪症状の基準を強化しました。また適切なタイミングの手指消毒を行うために個人に手指消毒剤とホルダーを配布し頻回に手指消毒剤を行ってもらっています。手指衛生（手洗いまたは手指消毒剤使用）の5つのタイミング（※1）以外にも手指衛生の場面（※2）があるのでご紹介します。

<手指衛生の5つのタイミング※1>

<その他の手指衛生場面※2>

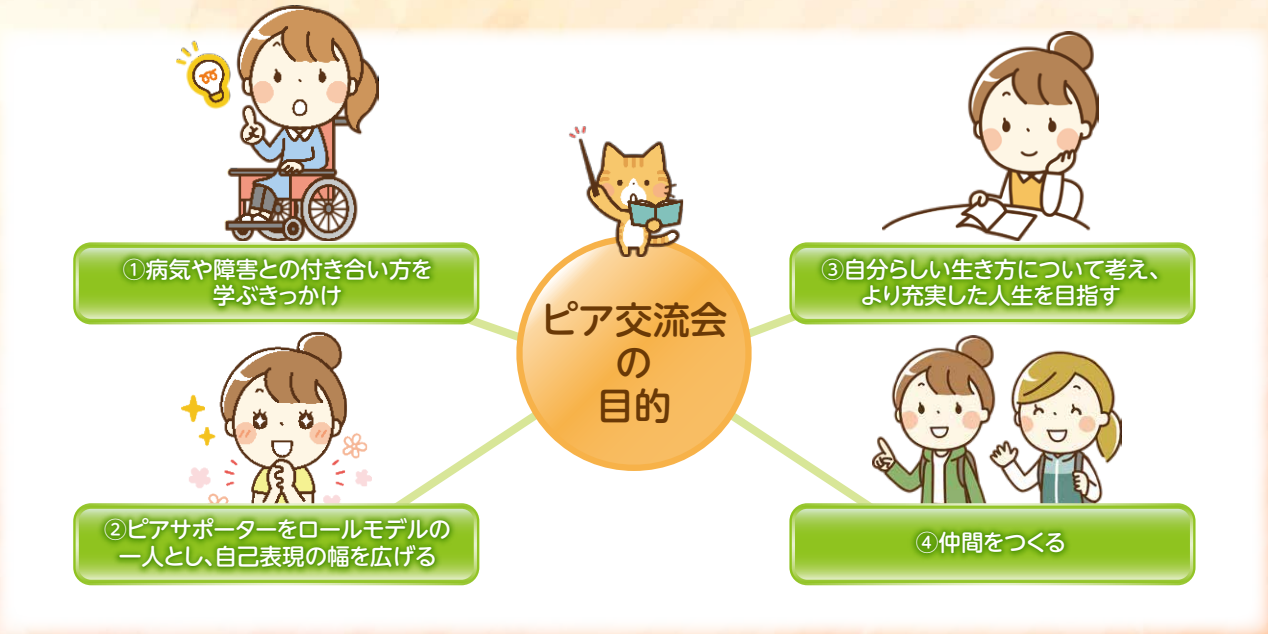
日頃何気なく行っている行為ですが上記を気にしながらぜひ手指衛生を行って下さい。
世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症ですが、当院ではそのほかの感染症にも対策を行っています。これからの季節はノロウイルスやインフルエンザの流行の季節になります。マスク・フェイスシールド・手指消毒・換気・環境消毒など医療機関として行っていく対策が様々ありますが、気を緩めずしっかりと感染対策を行っていきたいと思います。

林病院“リカバリー”の今

―第2回　デイケアの取り組み～ピア交流会～―

デイケアでは、リカバリーの取り組みの一つとして、月に一度デイケアメンバーとピアサポーターの交流会「ピア交流会」を行っています。ピア交流会は、岡山市のピアサポーター派遣事業を利用してピアサポーターグループに来ていただいています。

ピア交流会には次のような目的があります。



内容は、「精神障害をもつ当事者として活動するピアサポーターの方々から体験発表を聞く」、「病気や生活のことについてデイケアメンバーとピアサポーターが話をする」、「WRAP（元気回復行動プラン）の考えを取り入れたグループワークに取り組む」などをおこなってきました。

最初は何をどのように話していいか戸惑っていたメンバーもいましたが、ピアサポーターの話を聞いて、「自分もそうだった」といった感想が出たり、不調時の対策や工夫について知恵を出し合ったりする中で、仲間がいると感じ、自分のことを表現して語れるようになる方が増えていきました。

リカバリーの過程でいえば、障害受容の促進、メンバーが自身の悩み・希望を表現する訓練、他の当事者がどのような地域の資源や支援を利用して自己実現しているのか知り、メンバーが自分らしい生き方を考える場となっており、ピア交流会は、メンバーにとって、特にパーソナルリカバリーを促進するプログラムとなっています。

コロナ禍で中断を余儀なくされたピア交流会ですが、再開に向けて調整しています。

これからも、色々な人生、生き方があることを知り、相手の人生も、自分の人生も受け入れ、認めあうことができるような、あたたかな交流の場として継続していけたらと思っています。

次回はグループホームの取り組みを紹介します

一人ひとりに「おいしい」を

栄養科では、【安全でおいしく、楽しみになる食事、満足いく食事づくり】に努めています。

年末年始には年越しそば、鉄火丼や散し寿司、節分には手作り巻き寿司、年に一度のレク弁当等、様々な行事食を提供しています。

行事食以外でも新メニューを検討し、手作りサンドイッチ・ビビンバ丼・あんかけ中華そば・小豆粥等を提供しました。

嗜好調査や病棟懇談会でいただいたご意見にはできる限り対応するよう心がけています。

（一例：通常はお粥だがお寿司は食べたい、という方には「寿司の日寿司」対応とし、お寿司を提供。朝食を増やしてほしいというご意見をうけ、朝食一品追加実施等）

今年も皆様に喜んでもらえる食事を提供できるよう栄養科一同頑張っていきたいと思います。

診察のご案内

入院対応
入院のご相談は、地域連携室へご連絡ください。
夜間・休日も対応しています。
TEL:086-272-8811

外来通院
外来通院の相談は「林病院けやき外来」へご連絡ください。
9:00～17:00　月曜日～金曜日
9:00～12:30　土曜日
TEL:086-272-8570

デイケア・ナイトケア
9:00～20:00　月曜日～土曜日

重度認知症患者デイケア（わたぼうし）
9:30～15:30　月曜日～土曜日

林病院へのご案内

林病院へは…

- 岡山駅よりタクシー約10分
- 山陽本線（赤穂線）西川原駅より南へ徒歩13分
- 岡山駅東口バスターミナルより岡電バス「藤原団地行」、宇野団地入口で下車。西へ徒歩約2分
- 岡山駅東口バスターミナルより宇野バス「東岡山線」、林病院入口で下車。西へ徒歩約2分